

NPOの経済効果について

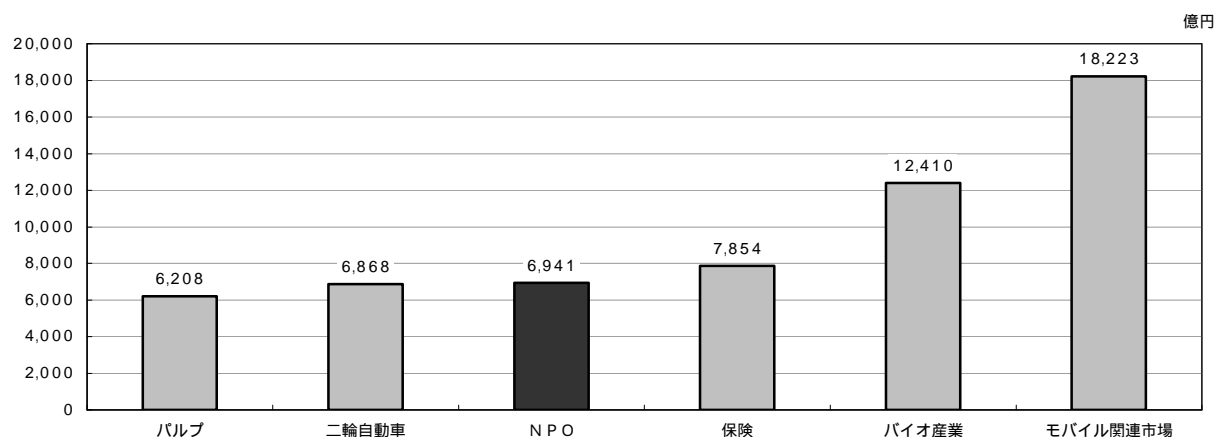
経済産業省の独立行政法人である経済産業研究所がまとめたNPOの経済効果分析では、2000年の非営利組織（NPO）の国内生産額は、6,941億円であり、二輪自動車やパルプより大きかった。

また、日本経済が2004年度以降に1.5%以上の成長を確保し、環境・福祉・情報などの成長分野で大きな需要が育てば2010年の生産額は、2.5倍以上の1兆7,844億円へと規模拡大が見込まれる。

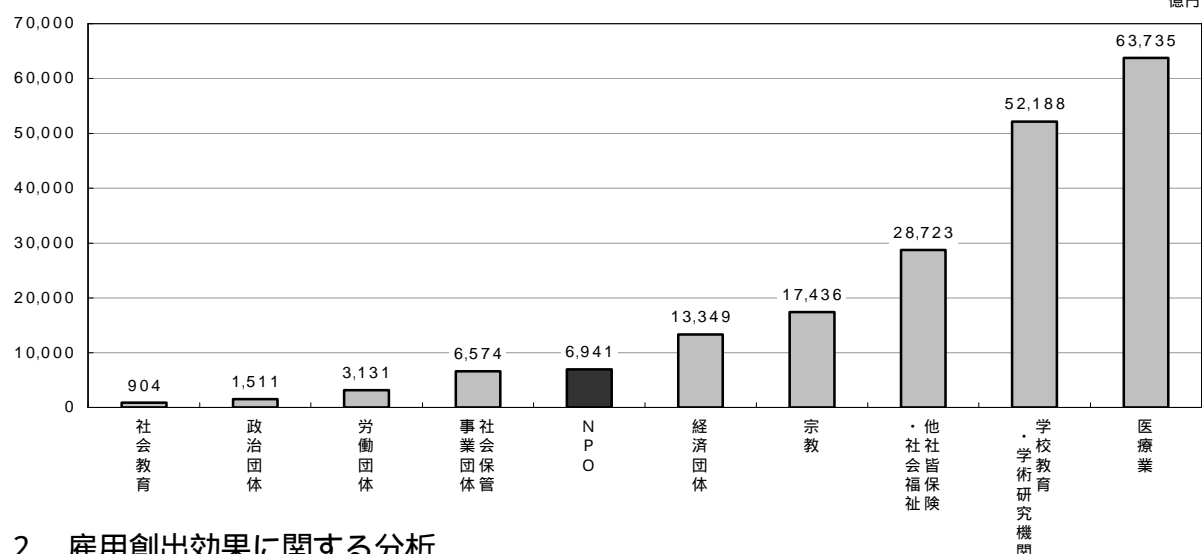
1 NPOの経済規模について（2000年）

NPOの国内生産額6,941億円は、全産業の総生産額の0.08%に相当する。

各産業の国内生産額の比較



非営利部門の国内生産額比較



2 雇用創出効果に関する分析

NPOの事務局スタッフは、2000年時点で約17.6万人と推定される。

また、2010年には、約24.2万人の新規雇用拡大により合計のスタッフ数は約41.8万人と見込まれる。